



# 必要な「新しい判断」は政治の転換！！！！

安倍首相は二〇一四年、消費税増税延期を理由に衆院解散・総選挙に踏み切った。その時「再延期はない」と断言。これは二〇一七年春までに消費税を上げて問題のないように日本経済を建て直すという約束だった。

現実の経済は

ところが労働賃金は下がり、消費支出も下がり、景気は悪化。さすがの安倍首相も「これでは消費税を上げられない」と認めた訳だ。

これは大失政。そこでサミットを利用して「世界経済はリーマンショックの前と似た状況」と云ったら、各国首脳から否定された。

アベノミクスの本質

大企業に減税し、大企業が儲ければ下々の生活も良くなるというのがアベノミクス。いざ、大企業減税すると、それは株主配当に回った。大株主はホクホク。しかし、中間層以下は賃金も減り没落。それで消費低迷。景気悪化。

大企業が利益を上げられたのは日本社会の支えがあったから。大企業に応分の税負担を求め、高額所得者の所得税率を元に戻せば、財政も潤う。消費税で庶民に課税するのでなく。

必要な新しい判断とは

今、必要なことは消費税増税を止めるだけでなく、大企業や高額所得者に応分の負担を求めること。「新しい判断」で必要なのは政治の転換なのでは？

みなさんはどう思われますか？

## 青池 — 白神十二湖

青森県西津軽郡深浦町

二〇一六年五月



樺の原生林、世界遺産「白神山」は一千三百平方キロ。青森県から秋田県にまたがる。その世界遺産地域の北側に十二湖地域がある。

宝永元年（一七〇四年）に津軽を震源とするマグニチュード7クラスの地震が起きた。この地震で、崩山が大崩壊。川を堰き止め、三十三の小さな湖ができた。崩山の頂上から見ると、その内の十二の湖が見える。それで「十二湖」との地名がついたそうだ。

十二湖の一つの青池。名の通り青い。日の光加減で、深い青になったり、緑がかったり見える。

特別な鉱物が溶けているというところでも無い様で、「何故青く見えるか」は、未だにはつきりしていないそうだ。

